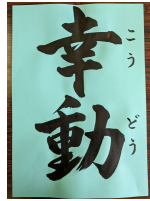


南っ子



令和7年度学校だより5月号
5月15日発行
延岡市立南小学校 No3
文責：校長 甲斐 憲一

地域を守る安全パトロール隊

5月8日(木)に安全パトロール隊との対面式が行われました。安全パトロールの皆さんには日頃から子どもたちの交通事故や声かけ事案等を防ぐ目的でボランティア活動を行っていただいています。現在27名の隊員の皆さんで構成されており、子どもたちの登下校の見守りに尽力していただいています。先日児童が声かけに遭い、近くにいた中学生がそのことを安全パトロールの方に伝えて、事なきを得たということがありました。地域を守る安全パトロールの皆さんには感謝・感謝です。



【安全パトロール出発式の様子】

スマホの危険性！

先日インターネットを見ていたら「スマホの使い過ぎで、脳の中が“ゴミ屋敷”のような状態になっている」という記事が載っていました。指摘するのは、認知症診療の第一人者「おくむらメモリークリニック」の奥村歩医師で、スマホ認知症は、スマートフォンの使用により、脳が疲労し、認知症と似た症状が出ている状態だそうです。物忘れや集中力、記憶力の低下などの症状が出てしまい、そのまま放置していると日常生活で大きな影響が出る可能性があるそうです。以前、日常、長時間使っている高校生が「あれよ」「あれ」と言って、人物の名前を思い出せないことが増えていると聞きました。このことは大変恐ろしいことです。



スマホ認知症の主な原因は、特に目的もなくスマートフォンを見続ける「だらだらスマホ」や、スマートフォンを使いながら、何か別のことをする「ながらスマホ」による脳疲労と言われるそうです。脳は、入力・整理・取り出しの3つの工程で情報を処理しているそうですが、スマートフォンによって、膨大な情報が脳に入り続けると、脳が疲れてしまい、情報が整理されない状態に陥り、結果として、脳の情報処理能力が低下し、認知症と同様の症状が出てくるそうです。脳機能を撮影した画像でも、正常な状態と比べ、脳機能の低下領域の広がり確認できるそうです。

特にまだ脳の発達していない幼少期にスマホを与えることは、本当に危険なことなのかもしれません。

お願い

先月の学校便りに、子どもたちの送迎でコンビニの駐車場を利用することは控えてほしいという内容で書きましたが、その後、地域の方からもコンビニの駐車場で子どもたちが急に車から出てきて、事故になりそうで心配だという声や、コンビニのオーナーさんも特に雨の日は迎えが多く、買い物できないお客さんもいて大変困っているとのお話を聞きました。また、先日10日午後、三重県明和町にある商業施設の駐車場で、5歳の男の子が軽乗用車にはねられ死亡した事故も起こっています。多くの子どもたちが駐車場内を送迎時に移動すれば、周りを十分に気を付けていても死角に入ってしまうときもあり、事故の確率も高くなります。子どもたちの命を守ることや他人の迷惑にならないよう、マナーを守っていただきますようお願いします。